

つくり育てる漁業・水産物ブランディング振興 特別委員会

〔 日時 令和8年6月12日（金）
午前10時10分
場所 第四委員会室 〕

○ 議 題

《食の流通・ブランド推進室》

1 水産物のブランド認証制度の概要について

《水産事務所》

2 つくり育てる漁業の進捗について

水産物のブランド認証制度の概要について

1 水産物ブランド認証制度について

(1) 趣旨

当市で製造された安心・安全・高品質な水産加工品を「八戸市水産物ブランド認証品」として広く情報発信することにより当市水産物全体のイメージアップを図り、認知度向上、消費拡大、魚価向上につなげ、当市水産物の振興に資することを目的とするもの

(2) 認証制度概要

①対象となる加工品

八戸市で水揚げされた水産物を主原料としており、自社において令和7年度中に新たに販売された加工品で、既存商品ではないもの

②審査方法

外部有識者及び市職員が審査員となり、各審査項目について点数評価を行う

③認証期間

決定の日から3年を経過する日の属する年度の末日まで（更新可）

(3) これまでの認証実績

認 定 番 号	第1号
会 社 名	株式会社マルヌシ（八戸市白銀二丁目5-1）
商 品 名	八戸の魚屋がつくった炊き込みごはんの素（さば）
認 証 期 間	①令和4年6月5日～令和8年3月31日 ②令和8年4月1日～令和11年3月31日 ※更新

認 定 番 号	第2号
会 社 名	株式会社八戸魚市場（八戸市大字鮫町字日ノ出町4）
商 品 名	天皇海山の金目鯛缶詰 しょう油煮、オリーブオイル煮
認 証 期 間	令和7年7月25日～令和11年3月31日

認 定 番 号	第3号
会 社 名	株式会社ディメール（八戸市築港街二丁目8-1）
商 品 名	金目鯛の棒寿司
認 証 期 間	令和7年7月25日～令和11年3月31日

認 定 番 号	第4号
会 社 名	開洋漁業株式会社（八戸市大字湊町字下条21）
商 品 名	金目鯛のあぶりハム
認 証 期 間	令和7年7月25日～令和11年3月31日

(4) 新たな水産加工試作品製造に対する支援

新たな水産加工品の開発に向けた試作品の製造に要する経費を補助することにより、本市加工品のブランド化の推進、水産加工技術の振興を図るもの

事業名	水産加工試作品製造支援事業
補助対象者	市内に事業所を有する事業者
対象事業	水産物を主原料とする新たな水産加工品の開発に要する経費 (水揚げ港、魚種の制限なし。)
対象経費	試作品製造費、アドバイザー費、パッケージデザイン費、 プロジェクト人件費、市場調査費、試作品に関する販売促進費
補助率	2分の1 (上限 75 万円)

(5) ブランド認証品に対するインセンティブ

認証のインセンティブとして、ブランド認証された水産加工品の販路拡大に要する経費を補助するもの

事業名	水産加工品販路拡大支援事業
対象事業	水産物ブランド認証品の販路拡大に要する経費
対象経費	展示会・商談会等出展費、アドバイザー費、広告宣伝費
補助率	2分の1 (上限 50 万円)

2 今後のスケジュール

事業名	5 月	6 月	7 月	8 月
水産物ブランド認証	5/15 募集開始	6/19 提出期限	審査会・ 認定/交付決定	
水産加工試作品製造支援	→	→		
水産加工品販路拡大支援	5/15 募集開始		7/31 提出期限	交付決定

つくり育てる漁業の進捗について

1 産学金官連携によるマツカワの陸上養殖事業

(1) お披露目・試食会の開催

- ①目 的： 市内の飲食店をはじめとする関係事業者に対し、陸上養殖マツカワの商品価値への理解を促すとともに、市場評価を把握する。
- ②催事名： 「八戸発 ^{おか}陸で育てた極上マツカワ お披露目・試食会」
- ③主 催： 八戸市・鳴脇漁業株式会社・青い森信用金庫・八戸工業大学・公益社団法人青森県栽培漁業振興協会
- ④協 力： 八戸商工会議所
- ⑤日 時： 令和8年7月1日（水）14時30分～16時
- ⑥場 所： 八戸パークホテル マグノリア
- ⑦内 容： ・陸上養殖事業の御紹介
 ・マツカワの試食（3品）
 ・初出荷に向けた商品説明
- ⑧出席者： 約80名（予定）

・来 賓	八戸商工会議所 武輪 俊彦 会頭
	市議会議員
・招待者	市内飲食店・仲買人等
	報道関係者
・主催者	市長
	鳴脇漁業株式会社 吉田 徳光 社長
	青い森信用金庫 益子 政士 理事長
	八戸工業大学 船崎 健一 学長
	青森県栽培漁業振興協会 山崎 結子 代表理事

- (2) 初出荷の時期 7月中旬予定（約2,000尾）※今後の生育状況等により変動
- (3) 次回の種苗投入 7月中旬予定（約3,000尾）

2 市川沖でのカキ養殖試験

(1) 養殖施設の状況

所在不明となっていた養殖施設2ヶ統のうち、水深9m帯の1ヶ統については、市川・八戸みなとの両漁協において、令和8年4月23日の作業でバスケットを回収し、種苗約1,000個の生存を確認した。(同日、経済常任委員会及びつくり育てる漁業・水産物ブランディング振興特別委員会の各委員に報告済)

水深13m帯の1ヶ統については、海況や天候等の事情からこれまで調査ができていなかったが、昨日6月11日の作業でバスケットを回収し、種苗約350個の生存を確認した。(養殖施設の破損により、多くのバスケットが流失していた。)

◎水深13m帯から回収したバスケット



(2) テストマーケティングの実施

養殖試験は、県の指導のもと実施しているものであり、今後、両漁協が区画漁業権を得て本格的な養殖に移行するためには、カキ養殖の技術面の検証に加え、養殖に要するコストや販売価格など、経営面の検証を行うことが求められている。

このため、養殖カキの商品性や想定される価格帯等を把握し、事業化に向けた採算性を検討するため、テストマーケティングを実施するもの。

- ①発注者： 市川漁業協同組合、八戸みなと漁業協同組合
- ②委託先： 株式会社リブル（徳島県）
- ③内容：
 - ・八戸沖養殖カキの衛生検査（貝毒検査を含む）の実施
 - ・飲食店等を対象とした食味や販売額についてのアンケートの実施
- ④備考： 八戸市養殖業成長産業化支援事業補助金を活用
(上限30万円、補助率2分の1)

(3) 第3回種苗の状況

※「平均重量」は測定用サンプルの平均値

	(個数)	(平均重量)	(備考)
R7/ 9月	1,600 個	3.4 g	入荷後、市川船溜まりで養生
R8/ 2月	約 1,000 個	19.5 g	引き続き船溜まりに留置
R8/ 6月	約 1,000 個	52.8 g	6月11日沖出し